



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2007. 9 月号

プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」



KAGAYA Studio

プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」は、宮沢賢治の未完の作「銀河鉄道の夜」を、デジタルファインアーティストのKAGAYA(カガヤ)氏が、綿密に調査し、3年もの歳月をかけて精緻に描き上げたフルCGの幻想世界です。この作品はドームスクリーン全体に映し出される映像で構成されています。そのため見る人の視界すべてに広がり、物語に実際に入り込んだかのような夢の体験を味わうことができます。プラネタリウムで上映されるのは、原作のうち銀河を列車で旅をする部分を中心です。

なお、この番組は平塚市美術館の「絵で読む宮沢賢治展」とのコラボレーションとして実現しました。

(「銀河鉄道の夜」公式サイトより一部加筆)

<http://www.gingatetudounoyoru.com/>

期間:9月15日(土)～11月4日(日)

土曜、日曜、祝祭日 10時、11時、13時、14時、15時 の5回投影予定

※番組は30分です。土日の11時と14時の回はその日の星空案内付きで50分です。

料金は大人100円 中学生以下無料 美術館の「絵で読む宮沢賢治展」入場券に観覧券が付いていますので、入場券をお買い求めの方は観覧券でござんいただけます。

秋期特別展

「第7回公募写真展—未来に伝えよう、地域の自然と文化—」 9月29日(土)～10月28日(日)

第7回公募写真展は、58名の方から466枚の作品が応募され、応募者数・作品枚数とも過去最大となりました。8月10日に審査会を行い、優秀賞10点と入賞20点、審査員特別賞10点が決まりました。特別展では、受賞作品を中心に、応募された全作品を展示します。新設のビデオ部門には、2名の方から見応えのある4作品が応募されました。会期中に常時放映します。

写真部門のフィルムとデジタルは、フィルムの方がやや多い結果となりました。内容的には、電線の撤去や橋の架け替えなどを数年にわたり撮影した組写真のように、記録性の高い作品がいくつか寄せられました。また、今まで若年層の応募者は少なかったのですが、平塚学園の生徒9名から応募があり、うち2作品が入賞しました。また、今回は応募票に100字以内のコメント欄を設けたところ、およそ9割の方が、写真の意図、工夫、思いなどをびっしりと記入してくださいました。

横浜市の名倉信光さんからは、昭和20～30年代に平塚・大磯で撮影した古写真が147枚も応募されました。未公開の市内の古写真がこれほど大量に残されていたことに驚くとともに、縁あって応募して下さったことを有り難く思います。たいへん資料的価値が高い写真なので、10点を審査員特別賞として表彰することになりました。ぜひ、会場でご覧ください。



第7回公募写真展 受賞作品 (応募順)

<優 秀 賞>

寺川仁「春遠からじ」、松原恭一郎「黄金バットがやって来た」、伊藤良一「ニューファミリー」、小久保隆司「溪谷に棲む」、杉山安雄「平塚七夕まつりの回顧」、西山和夫「電線が消えた町並」、小倉俊宏「根坂間の左義長」、武田秀夫「シラスうなぎ漁」、氏家勝男「現代の成人」、豊島久「毒を制す」

<入 賞>

寺川仁「我家の珍客」、小川アキラ「フレームの中の人々」、永野翔太「砂遊び」、平川直之「神饌田・収穫祭式典」「金目川の水利用・土屋橋下堰堰上げ」、竹内裕「夜に鳴く鳥(タマシギ)」、伊藤良一「古墳に咲く桜」、景山信太郎「茅の輪くぐり」、小久保隆司「いたずらっ子」、仲村昭一「前河原橋の架け替え」、角谷光男「初釣り」、山口高次「新春えびすまつり」、西山和夫「関東大震災の爪跡」、清田玲子「乙女文楽」、熊澤康正「波にもまれて」、武田秀夫「水鳥飛来」、小菅利夫「平塚砂丘」、大庭正一「灯ろう流し」、氏家勝男「花といっしょに」「春の権現祭」

<審査員特別賞>

名倉信光「魚市場のにぎわい」「海の男たち①」「台風一過」「洪水のあと」「下駄ばきで音頭とり」「渡り初め」「染色」「『大地』ピューリッツァ賞・パールバック女史支援訪問」「ゴミ箱消毒隊」「満員バス旅行」

■写真:優秀賞 松原恭一郎「黄金バットがやって来た」昭和28年頃、平塚市平塚(現・見附町)

☆夏休みのイベントいろいろ報告☆



夏休みには様々な行事が博物館で催されました。全てをここでお知らせするのは無理なので、そのうちいくつかを取り上げてご紹介します。



ハイビジョンシアター「ミラクル昆虫王国」
やっぱり昆虫は子どもたちに大人気！



体験学習
「貝化石を調べよう」
7月26日はれ
大磯海岸にて
参加者は53人でした。



体験学習「火おこし・弓矢に挑戦！」
8月2日はれ あんがい難しい～!!
写真は火おこしの様子です。



漂着物を拾う会
8月11日はれ
大きなエボシガイつきの
ウキがありました。
「どこから来たのかな？」

イブニングミュージアムウィーク

8月21日に行われた「草笛コンサート」の様子です。夕暮れのなか響く草笛の音に、通りがかりの人も足を止めて耳をすませていました。



満員御礼!?
担当者の展示解説
に聞き入る来場者。

「こども地震実験
教室」



特別展「連続講座・平塚周辺の地盤と活断層」と関連行事

1	土	☆	プラネタリウム「9月の星空ナビ」	プラネ
2	日	◎	宇宙の日記念行事「宇宙教室」	プラネ
6	木		裏打ちの会（博物館実習）	科学室
			展示解説ボランティアの会	特研究室
7	金		古文書講読会	講堂
8	土	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
9	日		地質調査会	特研究室
13	木		石仏を調べる会	出縄
		☆	寄贈品コーナー「博物館実習生」 ～10/30	寄贈品コーナー
14	金		古文書講読会	講堂
15	土		地質調査会	屋外
			星まつりを調べる会	特研究室
16	日		水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
		◎	ろばたばなし	民家
		☆	プラネタリウム「銀河鉄道の夜」 ～11/4	プラネ
19	水		民俗探訪会	講堂
20	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
21	金		古文書講読会	講堂
22	土		地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
			博物館太鼓連	講堂
			天体観察会勉強会	科学教室
			相模川の生い立ちを探る会	津久井町
27	木		石仏を調べる会	特研究室
28	金		古文書講読会	講堂
29	土		第7回公募写真展 ～10/28	特展室
30	日		天体観察会	屋上・科学室

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

<展示とプラネタリウム>

- ☆夏期特別展「平塚周辺の地盤と活断層」
会期：～9月9日（日） 会場：特別展示室
- ☆秋期特別展「第7回公募写真展」
会期：9月29日（土）～10月28日（日） 会場：特別展示室
（2Pに関連記事）
- ☆寄贈品コーナー「万田貝塚展」
日時：～9月8日（土）
- ☆寄贈品コーナー「博物館実習生展示」
実習生による展示制作です。
日時：9月13日（木）～10月30日（火）
- ☆プラネタリウム「9月の星空ナビ」
9月のおもな天文現象を解説します。
投影日：9月1日（土）午後2時
観覧料：100円（中学生以下無料）
- ☆プラネタリウム「月夜のお話」
月の満ち欠け、探査機、伝説、月食など月の話題満載のお話です。
投影日：～9月9日（日）（土曜午後2時、日曜午前11時と午後2時、9月1日（土）の午後2時をのぞく）
観覧料：100円（中学生以下無料）
- ☆プラネタリウム「銀河鉄道の夜」
投影日：9月15日（土）～11月4日（日）土、日、祝祭日の10時、11時、13時、14時、15時（1Pに関連記事）
観覧料：100円（中学生以下無料）

4	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
5	金		古文書講読会	講堂
6	土	○	自然観察ゼミナール 「自然観察リーダー入門」	野外
			地質調査会	屋外
7	日		平塚の古代を学ぶ会	講堂
			古代生活実験室	科学室
			石仏を調べる会	出縄
12	金		古文書講読会	講堂
13	土		地質調査会	特研究室
		◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		○	遺跡を歩く会	屋外
		天体観察会	屋上・科学室	
14	日		水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
16	火		イブニングミュージアムウィーク （秋編）～21日	博物館
17	水		裏打ちの会	科学室
		○	民俗探訪会	野外
18	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
19	金		古文書講読会	講堂
		◎	星を見る会	屋上・科学室
20	土		博物館太鼓連	講堂
			星まつりを調べる会	野外
		○	自然観察ゼミナール 「自然観察リーダー入門」	野外
21	日		相模川の生い立ちを探る会	西桂町
		◎	ろばたばなし	民家
25	木	○	秋の石仏ウォーキング	岡崎
26	金		古文書講読会	講堂
27	土		地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
28	日		天体観察会勉強会	科学教室

<参加者募集>

- ◎漂着物を拾う会
海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。
日時：9月8日（土）午前9時30分～11時
場所：平塚虹ヶ浜海岸
参加：自由（初めての方は往復はがきで申し込んで下さい）
- ◎ろばたばなし
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
日時：9月16日（日）（1）午後1時20分～（2）午後3時～
場所：展示室民家 参加：自由
- 第3回遺跡を歩く会
万田地区の遺跡を巡ります。
日時：10月13日（土）午前10時～午後3時
場所：万田地区 参加：往復ハガキで申込
×切：9月30日（日）必着 定員：30名
- 自然観察ゼミナール「自然観察リーダー入門」
生きものを対象とした自然観察会を運営するための基礎知識を学びます。
日時：10月6日（土）・20日（土）・11月17日（土） 午前9時～午後3時
場所：講堂及び野外
参加：3日とも参加可能な方。往復ハガキで申込。
×切：9月21日（金）必着 定員：20名

あなたと博物館 34巻6号 通算369号 発行 平塚市博物館 2300

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>